



『先憂後楽』とは、「国の大事については、世の人々に先立って憂い、そして国がよく治まり人民が楽しんでいられるを見届けてから初めて自分も楽しむ」という意味です。
(題字揮毫 林田悠紀夫先生)

2007.7 第27回 府政報告 多賀久雄事務所
〒626-0008 京都府宮津市万年895-8 TEL(0772)22-6335 FAX(0772)22-6335
<http://www.tango.or.jp/taga/> E-mail: taga@tango.or.jp

みんなで創ろう！輝くふるさと

会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。

おかげさまをもちまして、皆様から頂きましたご支援を背に、四期目の歩みを始めております。皆様から賜りましたご支援に心からお礼申し上げます。山田知事との信頼に裏打ちされた適度な緊張関係を保ちながら、地元課題の解決はもとより、議事に課せられた任務を全うできるよう、初心に戻り、全力で取り組んでまいりますので、今後とものご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

さて、府議会では、改選後初めての議会を5月21日に開会し、各党の合意に手間取りましたので5月26日の閉会となりましたが、議長等の人事や今期4年間の議会運営の方向を決めました。その際、私が議会運営委員会の委員長に選任されました。私も議会運営についてのいろいろな思いがありますので、引き続き府民に信頼される議会づくりに向けて取り組むとともに、議長を支えながら円滑な議会運営に努めてまいりますので、決意も新たにしているところであります。

いよいよ暑さも厳しくなっております折ですので、お身体ご自愛下さいますようお願いいたします。

京都府議会議員 多賀久雄



佐藤 1 佐を囲む会

これが今年の当初予算

～2月定例会ひろいがき～

今年の当初予算は、地域力の再生を最優先課題として編成され、その規模は、一般会計は8,210億11百万円、特別会計は2,579億84百万円、公営企業会計は222億43百万円で、総額1兆1,012億38百万となっております。



第41回定期総会

山田知事の提案 (抜粋)

特に、東京一極集中に見られるように地域間格差が拡大し、「もの」の豊かさに目が奪われる中で、本来、私たちにとって一番豊かな生活をつくり上げていた人と人とが支え合い、補い合う「思いやりの心」のある地域社会、いわゆる「地域の力」と言うべきものが衰えつつあるのではないかということに大きな危惧を抱くものであります。

主な地域力再生施策

地域力再生プロジェクトの推進

地域住民によって組織される各種団体や住民自治組織等が取り組む地域づくりなど、地域における「人と人とのつながり」を強め、地域力の再生につながると期待される地域住民活動に支援

子育て支援医療助成費の拡充

入院費	0歳から小学校入学まで	月額200円
自己負担額	0歳から小学校卒業まで	月額200円
通院費	3歳から小学校入学前まで	月額最大8000円
自己負担額	3歳から小学校入学前まで	月額最大3000円



医師確保対策

医師バンクの充実・地域医療確保奨学金制度の創設・与謝の海病院医療機器整備などにより深刻な医師不足を解消

京都ジョブパークの開設 (TEL 075-682-8915)

若者だけでなく、中高年齢者、女性、農・林・水産業にチャレンジしてみたい方などに、相談から職業紹介、定着支援までの全てのサービスを提供



少子高齢社会、青少年対策特別委員会

その他の主要施策

学びと育みの京都づくり

- ・いじめや不登校等の子どもの心の問題に対処するため、スクールカウンセラーを全ての中学校・高等学校に配置
- ・次代を担う子どもたちが議会や行政への関心や理解を深め、社会に参加する意識を育むため、子ども議会を開催
- ・子育て支援に積極的に取り組む中小企業を「京都モデル」子育て応援中小企業として認証

健やか長寿の京都づくり

- ・地域格差のない質の高いがん医療が府内全域で行えるよう、地域がん診療連携拠点病院に指定された府内の7病院と府立医科大学付属病院とのネットワーク機能を強化
- ・産学公連携による予防医学等の研究開発を推進するため、「京都府予防医学研究センター」を

設置

活力の京都づくり

- ・地域や社会の課題を解決していく社会企業を支援する体制を整備
- ・中小企業の技術の高度化や産学公連携を推進するため、「北部産業技術支援センター・綾部」を開設
- ・京都縦貫自動車道和知・綾部間の開通とETCの設置
- ・収益性の高い農業の展開と多様な担い手による農村の維持発展のため、新たな農業法人出資制度を創設
- ・丹後とり貝や丹後アワビなど丹後産水産物の生産を拡大し、統一的なブランド認証制度を創設



宮津祭り

環境・文化創造の京都づくり

- ・京都府景観条例の制定とそれに基づく景観計画の策定
- ・天橋立の世界遺産登録に向けた可能性検討調査の実施
- ・源氏物語千年紀(平成20年)に向けて、関連する事業の準備
- ・平成23年の国民文化祭京都開催に向けて、基本構想案の策定
- ・全国初となる文化を切り口とした起業コンペティションの開催



安心・安全の京都づくり

- ・警察官を70名増員
- ・自殺対策を進めるため、「こころの健康相談窓口」を設置
- ・犯罪被害者対策を強化するため、被害者等支援コーディネーターを中心としたサポートチームを設置
- ・耐震性能が不十分な木造住宅の改修を促進するため、市町村と連携して助成する制度を創設



加悦高着付け教室閉校式

ごあいさつ

庭のアジサイも鮮やかに咲く頃となりましたが、皆様には、ますますご清福のことと、お喜び申し上げますと共に、日頃は、多賀久雄また、多賀久雄後援会に対しまして、何かとご支援、ご指導賜っております事、心より厚く御礼申し上げます。

また、4月に行なわれました京都府議会議員選挙におきましては、皆様の絶大なるご支援のお蔭をもちまして、厳しい選挙戦でありましたが、4度目の当選をさせて頂きました。本当に有難うございました。引き続き1市2町の府民代表として、皆様の思い一つ一つを、愚直なまでに訴え続け、確実に実現してもらえらるものと期待しております。

さて、過去には、想像も出来なかった悲惨な、また倫理観のない出来事が、毎日のニュース等を賑わしています。日本は、世界でもまれに見る倫理観と世界観を尊んできました。しかし今、日本は、法律、法律と「欧米か！」と言いたくなるような国に成ってしまいました。私は、法律書は薄ければ薄いほど精神的先進国であり、何事にも法律に照らし合わせるような精神的後進国になってほしくないと思っております。その為にも今必要なことは、もう廃村に成っているところもありますが、旧村単位のコミュニティーを充実することではないかと思っております。顔の見える街づくりが、全てのテーマの根幹を成しているのではと思っております。

これからも多賀久雄に対しまして、「このように思っている」ということを、ドンドンとお聞かせいただき、政治家として皆様のお役に立てるようご指導の程宜しくお願い申し上げます。

結びになりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、日頃の御礼に代えます。

多賀久雄後援会

会長 今井 一 雄

夏まつりと総会のご案内

日時：平成19年8月4日(土)
18時より

場所：天橋立ホテル ガーデン

会費：男性 4,000円
女性 3,300円



皆様と会える日を楽しみにしております。
ご参加は各地区役員様又は多賀事務局迄お願いします。

多賀事務所 ☎0772-22-6335(FAX兼用)

今年も夏の夕暮れは！
皆さんと共に
夏まつりで
賑わいましょう。

